

那覇市在宅医療・介護連携推進事業 在宅医療同行訪問研修報告

氏 名：Tさん（看護師）
所属施設：那覇市立病院

分野	訪問診療
実施日時	令和7年8月19日（火） 13時00分～17時15分
研修先	おもろまちメディカルセンター 上間 医師、濱村 看護師
実施報告	<ul style="list-style-type: none">・今回、2名の在宅患者様の訪問に同行させていただきました。どちらも70代独居の男性で、訪問診療、訪問看護、ケアマネジャー、ヘルパー、訪問薬局、配食サービスを導入し、自宅での生活を支えていました。フォーマルなサービスだけでなく、友人によって生活が支えられている方もいました。訪問診療が中心となり、サービスを整えていく調整役として大きな役割を担っており、特に看護師がパイプ役となっている事を再認識しました。・訪問診療への移行をためらう方に関しては併診が望ましく、訪問診療医師の専門以外であれば併診は可能。内科であっても相談は可能。・訪問看護導入前の面談も、本人・家族を含め、院内で面談することは可能。・急変時対応がフルの方でも、本人・家族が望むのであれば救急搬送の対応をとる事は可能。現状のACP（アドバンス・ケア・プランニング）はどこかDNAR（心肺蘇生を行わないこと）へ誘導する風潮があり、懸念しているとのことでした。本来は患者・家族の希望が通るべきで、フルで在宅へ帰っても在宅療養する中で大半が最期まで自宅で看取る事を選択する患者様が多いとのことでした。
研修を終えて	<p>おもろまちメディカルセンターには訪問診療があるため、退院調整看護師が調整した患者様の退院後の経過を共有できると伺いました。患者様に適した調整であったかの振り返りや、訪問診療看護師からの助言も受けられる事は良い環境だと感じました。</p> <p>また、当院から依頼があるケースの情報も共有することができました。診療に同行する事で診療の実際と患者様の生活の場を肌で感じることができ、有意義な研修となりました。研修前に確認したかった内容も上間先生と濱村看護師から聞くことができたので部署内でも共有し、今後の在宅調整に活かしたいと思います。ご指導ありがとうございました。</p>